



ENEOS HD  
通期予想据え置き

## 実質営業益1900億円 電力調達で製品マージン堅調 損益悪化も

ENEOSホールディングスは、2021年3月期通期（2021年4月～2021年3月）の業績予想を据え置く。営業利益を在庫影響含みで2000億円、在庫影響を除いた利益相当額は1900億円とし、2020年11月の前公表から変更しない。

業績予想の前掲条件も原油価格が45¢（通期平均41¢）、銅貨1¢280¢（27

5¢）、為替レートは1¢105円（106円）としており、昨年10月以降の見直しを要していない。

在庫影響除きの1900億円は、2020年3月期通期実績の967億円を93.3億円上回る（96.5%増）。5月公表時と比べると250億円多い。

今冬は12月下旬以降、寒波の影響で電力需要が増加し、日本卸電力取引所の電力取引

価格が急騰した。自社電源をベースに電力を供給しているENEOSは新型コロナウイルス感染症拡大の影響で製油所の稼働を抑制していたため「製油所の発電を落とさざるを得ず、外部調達が必要だった」（田中聡一 常務執行役員）。

製油所の発電を増やしたが、発電原料の確保や停止していた発電設備の立ち上げに時間がかかり外部調達が発

## 出光 通期予想 上方修正 黒字転換 最終益150億円

出光興産は、2021年3月期通期（2021年4月～2021年3月）連結業績予想を上方修正した。営業利益は前回（11月10日）予想から600億円、経常利益は590億円積み増し、それぞれ950億円、570億円を見込む。当期純利益も350億円改善し、150億円の黒字に転換する。

想定原油価格（ドバイ）を前回予想時の38¢40¢から42¢40¢に変更した結果、在庫

生、損益悪化につながった。200億円の減益を見込む。こうした状況を踏まえ今後、機動的な発電原料の確保や相対卸調達の新規契約などを検討する。

新型コロナウイルスの感染を背景に、チリに保有するカセロネス銅鉱山の採掘計画見直しで694億円の減損損失を第3四半期に計上。一方で三井金属鉱業、三井物産からの全権益取得にともない発生する債務消滅益の約600億円を第4四半期に計上する。

製油所・製造所の再編にともなう損失も発生するが、堅調な国内石油製品マージンや通信需要の増加による電子材料の増販などで300億円の増益を見込んでいる。

影響損が100億円に400億円縮小する。持分法投資損益を加えた営業利益は600億円増の550億円。在庫影響を除くと、200億円増の650億円を見込む。

燃料油部門が前回予想の損失30億円から、利益600億円に630億円の大改善を果たす。在庫影響を除いた実質ベースでも230億円増の700億円を予想する。

コロナ禍の影響が大きい基礎化学品はマージン改善で40億円増、同様に高機能材は10億円増を見込む。一方で電力・再生可能エネルギーはコスト要因で70億円減となり、部門損失が120億円に拡大する見通し。資源部門は前回予想の20億円（石油開発40億円、石炭20億円損失）を据え置いた。

修正後の通期連結業績予想は次の通り（カッコ内前予想）。

▽売上高4兆5000億円（4兆30000億円）▽営業利益950億円（3500億円）▽経常利益570億円（損失20億円）▽当期純利益150億円（損失200億円）。



# ウメト インフォメーション

2021年 2月 15日 担当 小松

## 主要ゼネコン26社の20年4~12月期連結決算

(単位：億円、%。△はマイナスまたは赤字)

会社名	売上高	営業利益	経常利益	純利益	受注高	粗利益率
鹿島	13,889 (△3.4)	1,004 (18.4)	1,114 (18.5)	764 (10.4)	7,803 (△2.6)	14.5 (12.3)
	19,100 (△5.0)	1,150 (△12.9)	1,230 (△16.1)	800 (△22.5)	13,600 (15.1)	13.1 (13.4)
大林組	12,769 (△14.8)	868 (△26.7)	910 (△27.5)	711 (△22.5)	6,691 (△30.4)	13.4 (13.8)
	18,600 (△10.3)	1,190 (△22.2)	1,260 (△20.8)	940 (△16.9)	15,060 (△3.2)	12.6 (12.9)
清水建設	10,305 (△16.8)	706 (△27.2)	751 (△27.4)	552 (△25.2)	7,371 (△1.5)	12.4 (12.8)
	14,850 (△12.6)	825 (△38.4)	840 (△39.1)	610 (△38.4)	11,700 (△8.2)	10.6 (13.0)
大成建設	9,750 (△17.0)	822 (△11.6)	868 (△10.7)	571 (△16.8)	7,578 (△1.4)	14.8 (12.4)
	15,300 (△12.6)	1,200 (△28.5)	1,230 (△29.0)	820 (△32.8)	12,300 (△8.2)	13.7 (14.2)
長谷工コーポレーション	5,536 (△9.4)	466 (△23.7)	457 (△25.4)	311 (△26.4)	2,203 (△21.6)	17.5 (17.2)
	8,000 (△5.4)	725 (△15.6)	700 (△17.9)	490 (△18.1)	4,500 (△4.6)	16.3 (17.3)
前田建設	4,709 (33.6)	290 (13.1)	305 (2.3)	145 (△37.7)	1,956 (△36.4)	13.6 (13.5)
	6,768 (38.7)	414 (21.6)	400 (9.3)	166 (15.7)	4,079 (△1.2)	13.0 (13.6)
戸田建設	3,531 (△4.5)	144 (△38.7)	168 (△35.4)	112 (△40.0)	2,476 (△8.4)	10.2 (12.7)
	4,920 (△5.1)	241 (△31.6)	269 (△29.7)	171 (△33.8)	4,285 (△10.8)	11.5 (12.8)
五洋建設	3,422 (△21.6)	220 (△14.4)	217 (△16.0)	150 (△16.0)	3,355 (27.5)	10.0 (8.7)
	4,930 (△14.1)	275 (△17.1)	270 (△17.0)	185 (△20.8)	5,555 (26.3)	9.2 (8.8)
熊谷組	3,139 (2.2)	191 (22.3)	192 (20.1)	121 (△1.8)	1,865 (16.2)	10.7 (9.5)
	4,385 (0.5)	265 (4.2)	268 (4.2)	176 (△9.5)	3,010 (△7.4)	10.6 (10.0)
三井住友建設	2,994 (△10.0)	128 (△29.3)	110 (△37.3)	68 (△41.2)	1,765 (△24.4)	9.4 (10.2)
	4,000 (△15.3)	180 (△27.3)	155 (△35.1)	100 (△35.7)	3,350 (△1.0)	10.6 (9.6)
フジタ (単体)	2,683 (△23.3)	70 (△20.4)	56 (△35.8)	37 (△36.0)	2,478 (△5.2)	10.5 (8.7)
	3,685 (△29.2)	110 (11.3)	93 (8.6)	64 (6.4)	4,655 (△7.9)	11.9 (6.8)
安藤ハザマ	2,629 (△2.4)	197 (16.9)	183 (11.6)	125 (13.3)	1,418 (△48.7)	13.1 (12.4)
	3,650 (△3.5)	236 (△4.5)	219 (△8.7)	148 (△11.9)	3,350 (△11.9)	12.0 (12.3)
西松建設	2,483 (△7.6)	134 (△24.5)	140 (△23.3)	100 (△28.6)	1,115 (△21.3)	9.6 (11.1)
	3,300 (△15.7)	185 (△26.9)	191 (△26.1)	180 (△3.9)	3,300 (△8.6)	10.3 (10.7)
奥村組	1,572 (△3.6)	68 (2.6)	82 (2.9)	57 (△7.0)	1,097 (△10.6)	11.3 (10.0)
	2,120 (△6.3)	94 (△18.4)	110 (△17.2)	80 (△18.3)	2,000 (△8.6)	11.8 (11.5)
東急建設	1,546 (△37.7)	21 (△88.1)	27 (△85.5)	15 (△87.8)	1,860 (61.4)	8.0 (11.8)
	2,300 (△28.6)	40 (△80.3)	49 (△77.7)	30 (△79.9)	3,200 (65.5)	8.2 (11.2)
東亜建設工業	1,329 (△0.6)	67 (6.3)	70 (12.2)	44 (11.0)	1,538 (33.0)	9.8 (9.3)
	1,910 (0.4)	68 (△14.5)	69 (△9.3)	45 (△10.1)	2,350 (13.2)	8.3 (9.0)
鉄建建設	1,295 (△0.3)	49 (△5.1)	49 (△10.9)	32 (△16.8)	1,046 (△8.4)	8.7 (9.1)
	1,790 (△7.2)	59 (1.4)	56 (△7.5)	36 (△27.4)	1,730 (△2.3)	8.2 (7.5)
東洋建設	1,237 (△7.0)	89 (18.0)	86 (15.4)	56 (18.6)	1,001 (16.6)	12.0 (10.3)
	1,690 (△3.3)	109 (17.6)	107 (16.7)	70 (21.4)	1,495 (26.8)	11.4 (9.9)
青木あすなろ建設	1,139 (1.8)	37 (△29.5)	37 (△29.5)	24 (△23.3)	544 (△16.4)	7.7 (10.6)
	1,547 (△0.6)	52 (△29.7)	51 (△30.0)	34 (△26.0)	821 (△14.7)	7.8 (10.0)
浅沼組	984 (△5.4)	38 (△22.7)	38 (△22.2)	29 (△8.5)	827 (△21.1)	9.9 (10.1)
	1,345 (△4.9)	52 (△20.5)	52 (△18.7)	40 (△6.5)	1,250 (△14.2)	9.9 (10.1)
飛島建設	872 (△11.3)	26 (△47.4)	23 (△50.3)	16 (△50.2)	679 (△3.7)	9.0 (10.6)
	1,180 (△12.5)	42 (△46.5)	38 (△48.5)	23 (△55.0)	1,250 (17.1)	9.6 (11.1)
東鉄工業	868 (△1.5)	94 (20.5)	98 (18.5)	66 (16.1)	887 (△2.3)	16.4 (14.2)
	1,400 (△4.1)	126 (△15.2)	128 (△16.6)	88 (△17.4)	— (—)	— (—)
ピーエス三菱	837 (12.0)	66 (72.0)	66 (73.4)	44 (66.9)	791 (14.6)	14.0 (12.3)
	1,160 (9.7)	70 (43.4)	70 (42.9)	45 (40.0)	1,054 (1.8)	13.0 (12.0)
銭高組	832 (△11.1)	48 (6.5)	55 (2.5)	33 (0.4)	845 (17.5)	— (—)
	1,002 (△24.6)	24 (△58.8)	32 (△53.1)	10 (△76.5)	— (—)	— (—)
ナカノフドー建設	827 (5.1)	3 (△86.3)	3 (△85.0)	△7 (—)	450 (△12.8)	— (—)
	1,150 (△1.7)	15 (△63.5)	16 (△63.6)	2 (△93.2)	— (—)	— (—)
若築建設	632 (△21.3)	10 (△74.4)	11 (△73.8)	4 (△82.4)	485 (△25.8)	— (—)
	907 (△15.9)	26 (△47.4)	24 (△48.4)	13 (△56.1)	— (—)	— (—)

※億円未満切り捨て、カッコ内は前年同期比(粗利益率は前期値)。粗利益率と受注高は単体の数値。下段は2021年3月期見通し  
 ※東急建設、東洋建設の受注高は開発を含まない



## 植物油採用でCO2排出量は10分の1に！ 火災リスクも軽減する三菱電機の変圧器がすごい

三菱電機は植物油を採用することで環境負荷を軽減した電力用変圧器「MELCORE-NEO（メルコア・ネオ）」を2017年に発売した。政府が50年までのカーボンニュートラル（温室効果ガス排出実質ゼロ）目標を掲げたことで、環境配慮型製品への注目が高まっている。系統変電システム製作所赤穂工場変圧器製造部内鉄設計課の西村亮岐専任に開発の狙いなどを聞いた。（大阪・園尾雅之）

—植物油を採用した変圧器の特徴は。

「一般的な変圧器は、巻線と鉄心の絶縁性を維持したり冷却したりするための絶縁油に鉱油が使われる。鉱油に代わり大豆油を使える変圧器を開発した。使用済みの油を焼却処分する際、二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）が排出される。それを大豆が育つ時の光合成によって吸収されるCO<sub>2</sub>と差し引きする。その結果、CO<sub>2</sub>排出量は鉱油と比べて9割も削減できる。また、引火点が330度Cと高く、火災のリスクも低減できる」

—どのような現場に適していますか。

「鉄道用の変圧器は田園地帯などに設置されることも多い。大豆油は生分解性が高いので、流出した場合でも水質への影響を最小限に抑えられる。老朽化設備の更新需要に合わせて提案する。データセンターや病院など、防火性が要求される現場にも適している」

—普及拡大にあたっての課題は何ですか。

「大豆油は精製の手間を考慮すると、まだ鉱油に比べて高コストだ。今後、流通量が増えれば単価も下がるだろう。海外から調達しているためグローバルの調達網が遮断されるリスクも多少あるが、国内にもある程度の在庫はある。その上で、認知度を高めて拡販につなげたい」

—今後の展開は。

「再生可能エネルギーの発電所は自然に近い場所に設置するので、その場合は変圧器にも環境配慮が求められる。東京五輪関連施設も含めた納入実績があり、21年3月期中には累積出荷台数が30台を突破する見通しだ。実績としては容量30メガボルトアンペア（メガは100万）が最大だが、顧客の要望に応じて50メガボルトアンペア、60メガボルトアンペアなどもラインアップしたい」





## オイル塗布いらず！潤滑油少しずつが染み出る樹脂部品

福井精機工業（大阪市大正区、清水一蔵社長、06・6552・0115）は、超高分子ポリエチレン内に保持した潤滑油が少量ずつ染み出す樹脂部品「C i B s（キップス）」を開発し、受注を始めた。あらかじめ部品に練り込むことでオイル塗布の必要がなくなる。機械のメンテナンス頻度を低減でき、自動化に寄与する。初年度に数十件の受注を目指し、「5年後に年1億円の事業に育てる」（清水社長）考えた。

超高分子ポリエチレンは耐摩耗性が高い利点を持つが、熔融しにくく成形が難しい。福井精機は独自の加工技術で、潤滑油を長期間保持できる部品の成形に成功した。使用する油の種類や樹脂の形状は顧客の要望に応じる。食用油を練り込むことも可能で、食品加工工場の機械用部品などへの応用にも向く。

同部品の生産はこれまで顧客の求めに応じて個別に対応してきたが、保持できる油の種類などのノウハウを蓄積できたため自社製品として広く販売する。

受注後1カ月程度で納品可能。清水社長は「コストを極力下げ、スピーディーに試作開発して自動化需要に対応したい」と話す。



内部に保持する油の種類や樹脂の形状は顧客の要望に応じる（福井精機工業提供）